

令和7年度のMIDI検定3級、2級筆記試験の範囲について

□令和7年度の試験範囲は、公式ガイドブック「ミュージッククリエイターハンドブック【2023年改訂】～MIDI検定公式ガイド～」からの出題となり、旧ガイドブックは使用できません。

各級の試験範囲は下記の通りです。

・令和7年度の3級出題範囲（2023年改訂版ガイドブックのみが使用可となります）

MIDI検定3級では「音楽制作の基本的知識」を目安に、下記の項目から構成される内容を学習目標とします。

■CHAPTER 1 音と音の記録～音楽制作の変化

音の記録と再生、音楽制作の変化（1-5、1-6の内容）

■CHAPTER 2 音楽制作にまつわる機材の知識

コンピューターに関する知識（2-1の内容）

オペレーティングシステムの知識（2-2の内容）

その他の端末に関する知識（2-3の内容）

周辺機器の知識（1）【さまざまな接続形式】（2-4の内容）

周辺機器の知識（2）（2-5の内容）

DAWについて（2-6の内容）

プラグインソフトウェアについて（2-7の内容）

その他のソフトウェア（2-8の内容）

アナログ伝送の知識（2-9の内容）

デジタル伝送の知識（2-10の内容）

ケーブルとコネクタの種類（2-11の内容）

■CHAPTER 3 MIDIについて

MIDI 1.0の基礎（1）（3-1の内容）

MIDI 1.0の基礎（2）（3-2の内容）

MIDI 1.0の基礎（3）（3-3の内容）

■CHAPTER 4 MIDIと音楽表現

イベントリスト、ピアノロール、スコア表記、ドラムパーカッションの演奏データ（4-1、4-2、4-3、4-4の内容）

代表的な演奏表現（4-5の内容）

セットアップデータの重要性と作り方（4-6 の内容）

■CHAPTER 5 デジタルオーディオの知識

代表的なオーディオファイル（5-2 の内容）

■CHAPTER 6 電子楽器の知識

アナログシンセサイザー（6-1 の内容）

・令和 7 年度の 2 級 1 次出題範囲（2023 年改訂版ガイドブックのみが使用可となります）
MIDI 検定 2 級 1 次では「音楽制作に関する実務を行う知識ならびにその技術」という点
に注目し、下記の項目から構成される内容を学習目標とします。

CHAPTER9 を除く全ての CHAPTER の内容